

きみの人権を守る じんけん まも
子どもオンブズマン つうしん 通信

きたないといわれたり、なかまはずれにされる。先生せんせいにあってよけいひどくなったらイヤだし、しかえしされるのがこわい。

家いえの人が、あれしろこれしろばかりいう。

先生せんせいが自分の話じぶん はなしをちゃんと聞いてくれない。いつもいっていることがちがう。

子どもオンブズマンには
こんな相談そうだんがありました。

子どもが不登校ふとうこうになった。

クラスの中なかが落ち着かなくて、授業中じゆぎょうちゆうに立ち歩くあ子どもがいる。

学校がっこうに行ったらしくすると頭あたまがいたくなる。それがこわくて学校がっこうに行けなくなった。

うちの子こがいじめをしてしまった。



相談そうだんしてくれた内容ないようは、おうちの人ひとにも学校がっこうにもだれにもいいません。

一緒いっしょに考えてから、学校がっこうやおうちの人ひとや友達ともに話して面白いおもしろくなったときは、相談者そうだんしゃにかわって話したり、または相談者そうだんしゃと一緒に話いっしょすることもできます。

相談そうだんするときは、自分じぶんで電話でんわしても、おうちの人ひとに連絡れんらくしてもらっても大丈夫だいじょうぶです。



ひみつは
まもります
電話代でんわだいは
タダです。

フリーダイヤル

なんでもOK なやみゼロ



0120-70-7830

受付時間うけつけじかん

月げつ～金きん 午前8時30分～午後5時ごご（祝日のぞく）



sec_ombudsman@city.kunitachi.lg.jp

相談そうだんフォーム QR コード



直接ちよくせつくる時とき

国立市役所 北庁舎 27番窓口 予約なしでの直接来所もOK!

オンブズマンこらむ

たす 助けてもらおうチカラ

なるせ
成瀬オンブズマン

みなさんは、自分が「おとな」になったときの姿を、どんなふうに思いうかべますか？
自分で何でもできる人、だれかにたよらなくてもひとりで生きていける人・・・りっぴな自分を想像する人もいるかもしれませんね。「なりたい自分」のイメージを頭の中に描いて、それを目指してチャレンジすることはとても大事なことです。

でもときどき、なりたい自分になれないと思って「ぼく（わたし）はもうだめだ・・・」と自分の全部を否定したくなることがあります。

私もそうですが、カンペキな人間なんていません。良いところと悪いところ、いろいろあるのが人間です。だから、自分の全部を否定する必要はないんです。

じゃあ、「おとな」になるってどういうことなのでしょう？それは、自分にできることを精一杯やって、できないことは周りに助けを求められる。そんな「助けてもらおうチカラ」を身に付けることが、「おとな」になるってことだと思っています。

そんな私も、「助けてもらおうチカラ」のない子ども時代でした。小学校のときに学校でとてもいやなことがありましたが、親や先生には、「はずかしい」とか「心配かけたくない」とか思って相談できずにいました。そして「たいしたことじゃない」「ガマンしていれば大丈夫」と心にフタをして、自分で自分を苦しめていました。

だからこそ私は、これからも「相談していいんだよ！」
「ちゃんと相談を聞くおとながいるよ！」と、
みんなにくりかえしメッセージを送っていきます。



みんなのそうだん

このはたがめじるしだよ。
予約はいりません。
ちよくせつ来てね。

ども友だちと一緒に来てもOK!
ども友だちのこともいいんだ。

きたしみん
場所：北市民プラザ 会議室

にちじ
日時：令和元年 6月5日(水)
8月7日(水)

ごご 3時 ~ 5時

みなしみん
場所：南市民プラザ 会議室

にちじ
日時：令和元年 7月3日(水)
9月4日(水)

ごご 3時 ~ 5時

※北市民プラザは偶数月の第一水曜日、南市民プラザは奇数月の第一水曜日です。